

第2学年英語科学習指導案

日時 平成21年11月13日(金) 5校時
場所 陸前高田市立気仙中学校2年A組教室
生徒 2年A組25名(男13名・女12名)
指導者 佐藤和香奈 向口千絵子

1. 単元名 Unit5 A Park or a Parking Area?

(東京書籍 NEW HORIZON English Course 2)

2. 単元について

(1) 生徒観

4月に行った標準学力調査の結果は期待値74.4に対して平均正答率73.2とわずかに下回っている。観点別正答率を見てみると、表現の能力45.0%(期待値56.9)、理解の能力85.6%(81.8)、言語や文化についての知識・理解63.6%(70.0)であった。聞いたり、読んだりして理解する力は期待値を上回り、基礎的な力をつけつつあるといえるが、その際にふれている言語知識が生徒自身の表現活動に生かされるまでは定着していないことが考えられる。

生徒は、落ち着いた雰囲気の中で授業に取り組んでいる。発言はそう多くはないが、課題に対する取り組み方から、積極的に学ぼうとする意欲は高まってきていると感じている。書いたり話したりして表現させる活動を各単元の中で意識的に設けることにより、表現することに自信を持つ生徒も増えてきている。

(2) 教材観

本単元は駐輪場にまつわる身近な「地域の問題」を扱っている。友人の由香の妹が駅近くで倒れてきた自転車によって骨折する、という出来事をきっかけに、「公園を維持するか、駐輪場にするか」という議論に至るまでの経緯を、FAXや新聞記事、新聞への投書から読み取る。ここでは、教科書本文の新聞記事や投書などを読み取るだけでなく、生徒にとって関心のある問題や身近な「地域の問題」を扱いながら、「事実を伝える」「意見を述べる」という言語活動を設定することで英語による表現の幅を広げさせたい。

言語材料としては、if、that、when、becauseといった各種従属接続詞を用いた文構造が扱われている。従属接続詞を用いることで、条件や理由、意見や考えなどをより具体的に説明したり、描写したりすることができるようになる。言語活動を通してこれらの文の形・意味・用法をしっかり定着させ、自分の考えや気持ちをより豊かに表現できることを感じ取らせることのできる教材である。

(3) 指導観

本単元を通して、生徒が身近な問題に対して自分自身の意見を述べ、英語で表現し合えることを目標として指導を行いたい。特に Reading for Communication では、学習指導要領の内容(1)言語活動ウ読むことのうち、「(オ)話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。」を踏まえて、英文を読んだ後に自分自身の考えを表現することができるように、主体的に考えたり判断したりしながら読み取っていくことを求めている。

また、意見を主張する際によく用いられる表現に特に焦点をあて、自身の英作文に活用しやすいよう十分に口頭練習を行って定着を図りたい。継続して行っている教科書本文の暗唱活動でも、基本表現の十分な定着を意識して取り組ませたい。

さらに、単元のまとめとして、実際に学校で問題となっているテーマを設定し、本単元で学習した接続詞を用いて、理由や条件などを付け加えながら自分の意見をまとめ発表させたい。併せ

て、ペア活動やグループ学習などで自分の考えと他人の考えとを比較することにより、自分の考えを練り上げていく過程を大切にさせたい。

3. 単元の指導目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・課題に対し、既習事項を積極的に運用し、自分なりの言葉で表現しようとしている。

【表現の能力】

- ・新聞記事に対する自分の意見を話したり書いたりすることができる。

【理解の能力】

- ・本文の内容や従属接続詞を含んだ英文を読んで、その内容を理解することができる。

【言語や文化についての知識・理解】

- ・従属接続詞 *if, that, when, because* の文の形や意味、用法を理解し、それらを用いて自分の考えや気持ちを表現することができる。

4. 単元の指導計画と評価規準（10時間扱い）

節	時	指導計画	評価規準			
		学習内容	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
Starting Out	1	・if節を用いた文の形・意味・用法を理解する。				if節を用いた文の形・意味・用法を理解し、英文を作ることができる。
	2	・FAXの内容に対する問いに答える。			「if節」を用いた英文を読んだり聞いたりしてその問いに答えることができる。	
Dialog	3	・that節（目的）を用いた文の形・意味・用法を理解し、それを用いて簡単な対話をする。		友達と様々な話題について対話することができる。		that節を用いた文の形・意味・用法を理解し、英文を作ることができる。
	4	・本文の対話の内容を理解し、ペアで音読する。	既習事項を積極的に使用しながら音読に取り組もうとしている。	対話文の内容を把握し、正確に音読ができる。	本文の対話を読んでその内容に対する質問に答えることができる。	
Reading for communication	5	・when節の文の形や意味・用法を理解する。				when節を用い、適切な英文を書くことができる。
	6	・because節の文の形や意味・用法を理解し、それを使って理由を書く。		基本文や本文を参考にして、理由を書くことができる。		because節を用い、適切な英文を書くことができる。
	7	・新聞記事の内容を理解し、要約を日本語で書く。	既習事項を積極的に使用したり、自分なりの言葉で表現したりしようとする。		新聞記事を読みとり、論点を把握するためのメモを取ることができる。	

			している。			
8	・新聞記事に対する意見文の内容を正確に理解し、それに対して自分の意見を書く。	既習事項を活用し、英文を書こうとしている。	自分の賛否や理由について、ペアで簡単な対話ができる。	投書の内容について理解し、その内容についての質問に答えることができる。		
9	・前時で考えた自分の意見をもとにして、グループの話し合いに参加する。	グループ内での話し合いに積極的に参加している。	自分で考えた意見をもとに、グループで意見をまとめ、英語で書くことができる。			
10 本時	・新聞記事「気仙中学校の駐輪場について」を読んで自分の意見を述べる		新聞記事に対する自分の意見を話したり書いたりすることができる。			

5. 本時の指導

(1) 本時の目標

新聞記事に対する自分の意見を話したり書いたりすることができる。(表現)

(2) 本時の指導構想(自分の考えを交流する場面の持ち方と意図)

学習課題を確認した後、「気仙中学校の駐輪場について」という新聞記事に対する生徒自身の考えを「賛成か、反対か」という視点で明らかにさせ、自分の考えを持たせる場面を設ける。

新聞記事に対する自分の意見を友達とのコミュニケーション活動によって比較し、説得力のある意見の述べ方について考えさせる。

ふりかえりの場面では、賛否やその理由を述べる表現に注意しながら、個人で再度意見を書いて学習内容の定着を図る。友達との活動で気がついたことや、自分自身の授業態度について自己評価を行う。

(3) 具体的評価規準と評価方法

観点	評価方法	B: おおむね満足できる	C: 支援を要する生徒への手立て
表現の能力	ワークシート	自分自身の賛否とその理由を明らかにした英文を書くことができる。	意見を述べたり、賛否を明らかにしたりするための表現(板書してある表現)を示す。書き出しの表現を示す。

(4) 本時の展開

過程	学習活動	活動内容	指導上の留意点
導入	1 あいさつ 2 Warm-up 3 基本文テスト 4 課題の設定	1 英語であいさつをする。 2 Q & Aを行う。 3 接続詞 when, if についての確認テストを行う。 4 今日の学習課題を確認する。	・テンポ良く進める。 ・質問に答えられない生徒には、ヒントを与えたり、答え方を教える。
5	新聞記事「気仙中学校の駐輪場について」を読んで英語で意見を交流し合おう		
展開	5 記事の内容理解 6 記事についての自己決定 7 意見の根拠 8 インタビュー活動 9 グループ活動	5 配布された記事を黙読する。 6 記事に対して賛成・反対の立場を明らかにする。自分がどちらの立場か挙手をする。 7 英語で賛成・反対の理由を考える。 8 周りの人と質問し合う。相手の意見の簡単なメモをとりながら聞く。 9 賛成グループと反対グループに分かれる。グループ毎に賛成・反対の立場から、理由も含めて英文を考える。考えた文や理由を、グループ毎に紙に書いて、黒板に貼っていく。	・英語表現が思いつかない生徒には英文例を示したり、既習文法事項を確認したりする。 ・声量、アイコンタクトなど対話相手を意識した活動になるように指導する。 ・意見の相違や英語表現が分からないなどのつまずきが顕著に見られる生徒やグループには、意見をまとめるための声かけをしたり、英語表現のためのヒントを与えたりしながら、取り組ませる。
40	10 発表	10 賛成・反対、それぞれ何人か意見を発表する。	
終末	11 1 ふりかえり	11 改めて自分の意見を英語で書く。他の人の意見を聞いて感想を書く。	10 表現の能力 <ワークシート> B. 自分自身の賛否とその理由を明らかにした英文を書くことができる。 C. 板書してある、意見を述べたり、賛否を明らかにしたりするための表現を示す。書き出しの表現を示す。
5	12 あいさつ	12 英語であいさつをする。	・家庭学習の指示をする。